

対象	小学校中学年以上
教科	社会科
該当 単元	小学3年 「古い道具と 昔のくらし」
教科書	東京書籍等
掲載日	2017.7.8. 朝刊 尾張版



㊦折り畳み型のトイレトーパーと紙置きなど、昭和の家庭にさりげなくあった生活用品が並ぶ ㊧ガムの包装紙や牛乳瓶のふたなど、当時のごみまで展示している＝いずれも北名古屋市熊之庄の昭和日常博物館で



ぬれた手で触ると手が引っ付いてしまうアルミ製の製氷機や、ブ

資料としてあまり脚光を浴びてこなかった「昭和日常博物館」で始まった。九月十日まで。生活用品を集めた「昭和暮らしの端っこ展」同館は「当時のごみ箱の中身まで再現でき

# 昭和の暮らしそのまま 北名古屋 生活用品展示、ごみも

るレベル」を目指し、ごみも含めて収集。今回はその中から食品のパッケージや文房具など約七十種を展示している。

ラシ部分が約四割もある歯ブラシなど、今では見かけなくなった生活用品がずらり。ロール型のトイレトーパーが普及する前の四角い紙と、その紙置きもある。

市橋芳則館長(左)は「普段は思い出さない、昔の細かなことまで思い出してもらえば」と話している。(鈴木あや)

問1：上の写真の右下にいくつか置いてある四角いかごは何でしょう。記事を読んでもらって答えを考えましょう。

( )

問2：写真をよく見ながら記事を読んでもらい、写真に出ていない「少し昔の道具」二つを書き出しましょう。

①( )

②( )

問3：写真のごみをよく見て、友達や家族と一緒に今のごみとの違いについて意見を交わしましょう。

自分の意見



友達・家族の意見

## 【活用にあたって】

この単元は3年生後半に出てくる単元です。そこにつながるプレ学習に活用してみてもはどうでしょうか。3年生ですので記事は先生や家族が読んで活用する形をとりました。

この単元では「暮らしをより良くしようとする人々の願いによって道具は様々に工夫されてきた」ことなどを学ぶのがねらいとされています。実際にはアイロンや洗濯機、冷蔵庫など明らかに便利になっている道具が取り上げられることでしょう。

この記事では「暮らしの端っこ」にあるものとしてごみに注目している点にポイントがあります。今のごみとの比較によって、環境問題にも話題を広げることが可能です。便利さだけを追求することの怖さも一緒に考える機会にできるのではないのでしょうか。

### 解答例

問1：トイレで使う紙(トイレットペーパー)の紙置き

問2：①ぬれた手で触ると手が引っ付いてしまうアルミ製の製氷機

②ブラシ部分が約4センチもある歯ブラシ

問3：写真のごみ：紙や布など燃えるごみばかり。

今のごみ：ビニールやプラスチックごみが多い。